

決算語録

フォーマツト 切り替え視野



「必要なM&A(企業の合併・買収)はやっていくし、業態のスイッチングも考えているところ」と話す

のは、バローホールディングスの小池孝幸社長。岐阜県内の店舗網とサービスの拡充について戦略を描いていることを明らかにした。

業態の変更について「人口が減っているエリアで、ドラッグストアかスーパーマーケットか、何を設置するのがいいのか。フォーマツトの切り替えを視野に入れて考えている」と語る。

関東のバローは、昨年11月に横浜市、今秋には東京都大田区に計画し、いずれも居抜き出店となる。「今後はできるだけ居抜きになるだろう。居抜きの方が投資コストも出店スピードも

速くできる」とメリットを強調した。